

大学における核不拡散・核セキュリティ教育と 「原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る 国際フォーラム2024」について

2024年8月22日



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核不拡散・核セキュリティ総合支援センター（ISCN）

Integrated Support Center for Nuclear Nonproliferation and Nuclear Security

令和6年度第1回核不拡散科学技術フォーラム

核不拡散・核セキュリティ分野における人材育成支援・教育の現状と課題

海外（国際・アジア）

- 新規原子力導入国における2S体制の構築、維持
 - ✓ ASEAN：次期ASEANエネルギー行動計画（2026-2030）、ASEANエネルギーセンターとのMOC
 - ✓ FNCA（アジア原子力協力フォーラム）
 - ✓ APSN（アジア太平洋保障措置ネットワーク）
 - ✓ ASEANTOM(ASEAN原子力規制機関ネットワーク)
- RIセキュリティ規制体制構築・維持
 - ✓ IAEA INSSPミッション等を活用
- SMRの導入を見据えた体制構築支援
 - ✓ 二か国間協力（フィリピン、インドネシア）
- 核セキュリティ文化醸成
 - ✓ ASEAN、二か国間（タイ、マレーシア）



- 核セキュリティ・核不拡散関連の教育
 - ✓ タイ・チュラロンコン大学
 - ✓ 米国・テキサスA&M大学NSPPI
 - ✓ ブルガリアUNWE(Univ. of National and World Economy)
 - ✓ EU・保障措置専門修士課程

国内

- 大学教育において
 - ✓ リテラシーとしての核不拡散・核セキュリティ・軍縮教育ニーズあり
 - ✓ 本分野に関するカリキュラムの不在（一部、東工大、東大の講座のみ）
 - ✓ 教官不足
 - ✓ ネットワークの不在（ANEC*にも本分野は未整備）



期待される対応

- カリキュラムの作成支援・提供
- 教官の支援、専門家人材の育成と大学への派遣
- 多様な人材のエンゲージ（すそ野の拡大）
- ANECへの参画・本分野の充実化
- 学生の関心の喚起（ISCN夏の学校とIAEA/INSENとの連携）
- 本分野の教育強化に向けた機運の醸成

*:未来社会に向けた先進的原子力教育コンソーシアム

国際パートナーと協働した国内大学における本分野の教育強化に向けた機運づくりにむけて

IAEAや国内関係省庁、機構原子力人材育成センター、ANEC、アジアの関係機関・大学と連携して、

- 本分野の教育強化に向けた機運づくり、高めていく
- 教材の開発・提供、大学の実情に合ったカリキュラム開発
- 大学教官の本分野における指導支援
- ISCN夏の学校を拡充・拡大し国内学生の関心の喚起、本分野への人材確保につなげる

➤ マイルストーンイベント（案）

① 国際フォーラム2024（2024年12月）

- 大学における核不拡散・核セキュリティ分野の教育の強化に向けた国際・国内連携の将来像を描き出す。
 - 核不拡散・核セキュリティ・原子力分野の人材確保に向けた学生のエンゲージメント
 - リテラシーとしての核不拡散・核セキュリティ教育強化(Awareness raising)
- 翌年の一連のイベントとシリーズ開催することで大学における本分野の教育強化の機運を高めることが可能。

② INSEN年次会合（2025年7－8月頃）の日本開催

- ウィーン以外での初開催
- 開催5日間のうち、1日を「ISCN夏の学校(卒業生)」や国内大学関係者とのコラボ企画とする

③ 国内向け核不拡散・核セキュリティ教育シンポジウム(ワークショップ)

- INSENメンバーを含む海外からの招へい専門家と国内大学関係者・学生を招き、具体的なプログラム検討等を行う。

④ IAEAマリー・スクロドフスカ・キュリーフェローシッププログラム(NSCFP)スクールの日本開催

- 核セキュリティ・保障措置にフォーカスしたスクールプログラム
- ウィーン以外での初開催
- ③で検討したプログラムのパイロット実施、国内学生・大学関係者も交えて

「原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム2024」 (案)

➤ テーマ

- 「核不拡散・核セキュリティ分野の大学教育と大学・研究機関の連携」

➤ 目的(ゴール)

- 大学における核不拡散・核セキュリティ分野の教育の強化に向けた国際・国内連携の将来像を描き出す。
 - 核不拡散・核セキュリティ・原子力分野の人材確保に向けた学生のエンゲージメント
 - リテラシーとしての核不拡散・核セキュリティ教育強化(Awareness raising)
- 翌年の一連のイベントとシリーズ開催することで大学における本分野の教育強化の機運を高める。

➤ 構成

➤ 第一部

- 基調講演1：「IAEAのグローバルな視点からみた核セキュリティ教育の重要性と必要性(仮)」
IAEA (依頼中)
- 基調講演2：「我が国における原子力政策と次世代育成の重要性 (仮題)」
- ISCNの事業報告

- 第二部：パネル討論「核不拡散・核セキュリティ分野の大学教育と大学・研究機関の連携 (技術的な人材育成を含む)」

- モデレータ：国内大学関係者
- パネリスト (4名程度＋学生セッション代表) – アジアのパートナー機関を含める

